

アクモスグループの新鮮情報をお伝えするIRマガジン

ACMOS HIGHWAY

アクモス ハイウェイ

Top Message

持続的成長にむけ、変革を推進

特集

アクモスの目指す専門特化

アクモスジャンクション

クラウド健康管理システム

情報セキュリティEXPO

人を育てる「アクモス会長賞」


アクモス 株式会社

証券コード：6888

2017
Vol. 14

アクモスグループは、お客様に感動していただける
プロフェッショナルなサービスを提供いたします。


ITソリューション事業



ネットワーク構築

ITインフラを安全かつ確実に稼働させるためのトータルソリューション提供


- ・サーバー環境や大規模ネットワークの構築・保守
- ・セキュリティ関連の診断 など



医療情報システム

病院内システムの導入から運用管理までをサポート


- ・コンサルティング
- ・システム構築
- ・運用管理 など



システム運用監視

システムの安定運用によりお客様の業務遂行をバックアップ


- ・24時間365日対応の客先常駐型運用 など



地図情報提供サービス

地図に関する情報やシステムの提供

- ・地図デジタルデータの入力
- ・一般企業や自治体の地理情報システムの構築
- ・GISエンジンの販売
- ・インターネット地図情報配信 など



SI・ソフトウェア開発

お客様の情報に関わるITソリューションを提供

- ・一般企業の業務システム
- ・自治体のITソリューション
- ・宇宙関連システム
- ・消防通信指令システム など


ITサービス事業



情報処理サービス

お客様の情報に関わるITサービスを提供

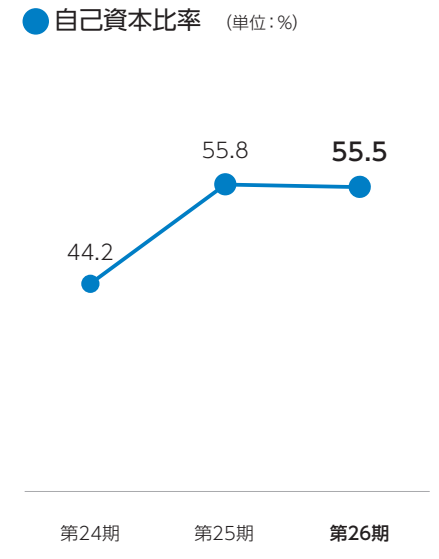
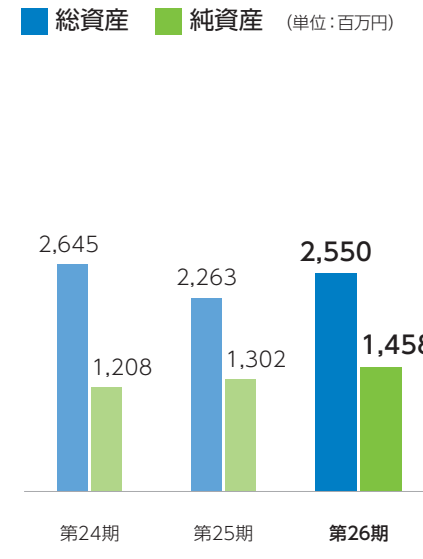
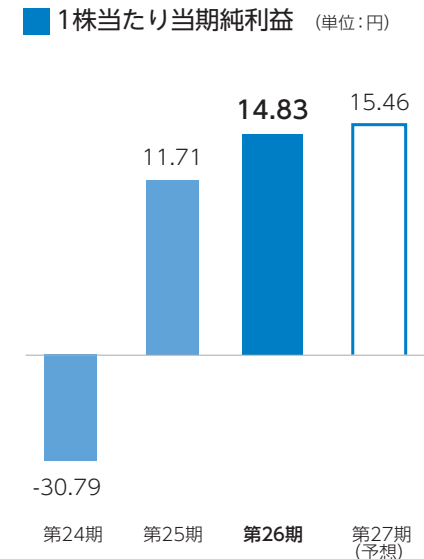
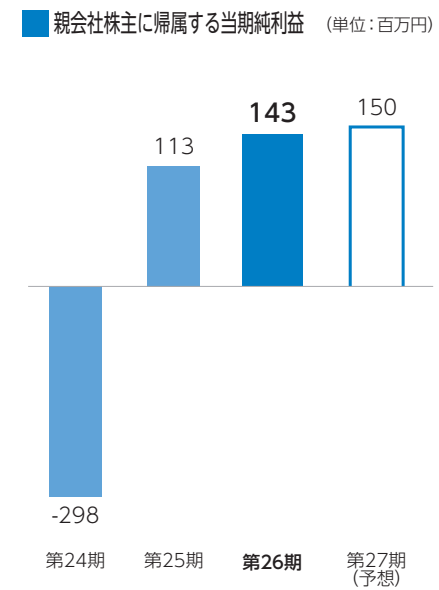
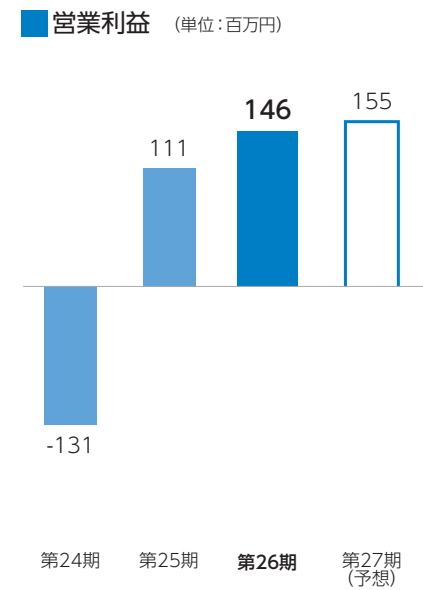
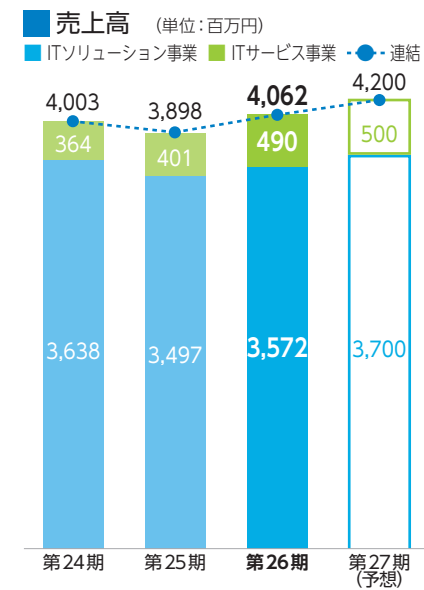
- ・データ入力
- ・マークシート・WEBでのアンケート制作 (印刷) から集計
- ・試験採点や選挙集計
- ・オンデマンド印刷・封入発送作業 など



ビジネスプロセスアウトソーシング

お客様の業務効率化とコスト削減を実現し、ビジネスプロセスを最適化

- ・ストレスチェック関連サービス
- ・コールセンターや事務局の運営 など



*自己資本比率=自己資本(純資産-新株予約権-非支配株主持分)/総資産

持続的成長にむけ、変革を推進



代表取締役会長 兼 CEO
飯島 秀幸



代表取締役社長 兼 COO
清川 明宏

第26期のご報告

～専門特化を進め、持続的成長の種を育てる～

当社の事業を取り巻く環境として、システムの再構築や統合、クラウドサービスへの移行に伴う ICT投資が拡大しており、情報システムへの依存が進むにつれ情報セキュリティ対策の重要性が高まっております。また、社会問題とな

っている長時間労働の是正やワークライフバランスの推進、労働生産性の向上にむけた「働き方改革」「健康経営」といったテーマでは、ICTの活用が注目されております。

こうした環境のなか、当社は専門特化したICTの領域を極めるべく、第26期は「情報セキュリティ」「医療」「健康」「空間情報」をターゲット

として持続的成長の種を育ててまいりました。中期経営計画 I（2016/07-2019/06）のテーマでもある「変革」を常に意識し活動した結果、

- ・クラウド健康管理システム
「LIFEDESK」
- ・標的型攻撃メール対応訓練
「SYMPROBUS Targeted Mail Training」
- ・超高速秘密分散ソリューション
「SYMPROBUS Divide API」

などのサービスをリリースすることができました。どれも発展途上のサービスではありますが、リリース直後の反響も良く当社の取り組みを知っていただく重要なアイテムになりました。

経営の基礎となる既存事業分野では、労働安全衛生法の改正で2015年12月からストレスチェックが義務化されたことにより、EAP関連事業（EAP：Employee Assistance Program、従業員支援プログラム）の売上が222百万円となり前期の53百万円から伸長し、当社グループの利益に大きく貢献しました。

部門別採算制度（ウィングシステム）については、グループ企業全てに導入し、経営の数値

化と社員の経営意識向上に努めました。

また、当社は第26期にモニタリング機能強化等を目的として監査等委員会設置会社へと移行いたしました。グループ各社の事業戦略の進捗のモニタリングを目的として、従来までの各社取締役会への担当役員の出席に加えて、年4回の報告及び年2回のグループ経営会議の開催を開始し、コーポレート・ガバナンス体制の充実にも取り組んでおります。

以上により、連結での売上高は4,062百万円（前期比4.2%増）、営業利益146百万円（前期比31.1%増）、経常利益158百万円（前期比30.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益143百万円（前期比26.7%増）、株主資本利益率（ROE）10.8%（計画値7%）、時間当たり付加価値3,073円（計画値3,000円）と目標を上回る結果となりました。

第27期の展望

～持続的成長にむけ、変革を推進～

第27期は中期経営計画 I (2016/07-2019/06) の2年目として、グループの持続的成長を目指し更に変革を進めてまいります。

ITソリューション事業においては、専門特化を意識した時流適応分野におけるサービスの展開・自社製品の開発を更に発展させてまいります。既存事業分野では、目まぐるしく変化する外部環境の変化に対応できるよう経営資源の最適化に努めてまいります。

ITサービス事業では、クラウド健康管理システム「LIFEDESK」の機能を「管理」から「分析」へと進化させ、多くの企業の健康経営をサポートするシステムへと発展させてまいります。

グループ各社で取り組んでいる部門別採算制度（ウィングシステム）は、計画、実行、評価、改善というPDCAサイクルを回転させる「活用」のステージに入ります。確実な収益の確保を目的とし導入した制度ではありますが、様々な変革へのチャレンジを行いつつ更に高い付加価値を獲得するための戦略ツールとして進化させてまいります。

第27期の連結業績は、売上高4,200百万円（前期比3.4%増）、営業利益155百万円（前期比5.8%増）、経常利益170百万円（前期比6.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益150百万円（前期比4.2%増）、株主資本利益率（ROE）10%、時間当たり付加価値3,200円を目標として進んでまいります。



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日頃、当社グループの事業活動・企業活動に格別のご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

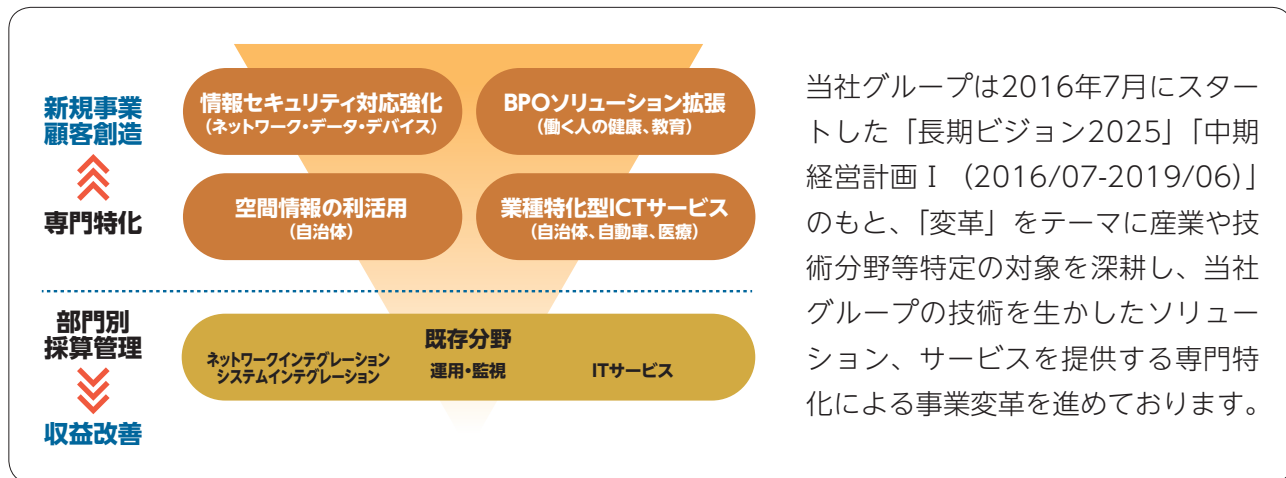
当社グループは、長期ビジョン2025及び中期経営計画 I (2016/07-2019/06) のもと「変革」をテーマに活動し、1年目を終えたところであります。



中期経営計画 I (2016/07-2019/06) の初年度はおおむね順調に進み、連結の親会社株主に帰属する当期純利益は143百万円を確保することができました。配当性向に関わる当社単体の当期純利益もほぼ目標通りでありましたので、9月26日に行われた第26回定時株主総会におきまして、期末配当金の額を1株当たり2円とする決議を株主のみなさまよりいただいたところでございます。

第27期は、中期経営計画 I (2016/07-2019/06) の2年目として、当社グループを専門特化集団として更に磨きをかけてまいります。当社は、単体当期純利益に対する配当性向30%を目標に連結業績並びに内部留保を勘案し配当を行うことを基本方針としておりますので、目標としている単体当期純利益100百万円をふまえ、期末配当は1株当たり3円と予想しております。

株主のみなさまには、引き続きご理解とご支援を賜りますよう深くお願い申し上げます。



情報セキュリティ対応強化

セキュリティ関連業務拡大のための基盤固めを推進

アライアンス契約を11社と締結し、アライアンス先の製品を活用した仮想デスクトップ構築などの入札案件に参加して一部受注しています。

また展示会等で、自社セキュリティ関連製品やアライアンス先の製品を活用したソリューションのPR活動を行いました。

自社セキュリティ関連製品

超高速秘密分散ソリューション「SYMPROBUS Divide API」

→機密ファイルを高速に分散・復元し、万が一断片ファイルの一部が漏えいしても元のデータを解読できない「ファイル分散機能」を提供するAPI。

標的型攻撃メール対応訓練「SYMPROBUS Targeted Mail Training」

→巧妙化する標的型メール攻撃の脅威を実感し、組織内のセキュリティ意識の向上を図ることにより被害を未然に防ぐ、教育型ソリューション。

空間情報の利活用

地方自治体にむけた森林ICTプラットフォームを推進

森林ICTプラットフォームを愛媛県内、高知県内の市と町の2自治体に導入しました。

主力製品である地理情報戦略システムGEOSISの開発も進め、当期に開発の完了したWebGISエンジンの販売を開始。森林ICT案件の配信モデルのベースとして採用されています。

業種特化型ICTサービス（医療）

病院内情報システム運用分野はシェア拡大

人材の確保と育成に注力し、医療システム系の学校からの新卒採用と医療情報技師資格の取得支援を継続しました。

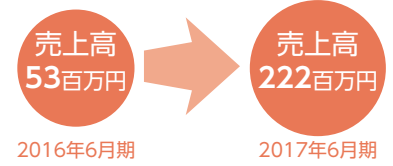
その結果、病院内情報システム運用分野は顧客病院数が増加し、順調に推移しました。



BPOソリューション拡張

働く人の健康関連業務が拡大

労働安全衛生法の改正により、2015年12月より義務化されたストレスチェックを中心としたEAP関連業務の売上が拡大。



健康診断、ストレスチェック、勤怠のデータをクラウド上で一元管理できるシステム「LIFEDESK」をリリースしました。



クラウド健康管理システム「LIFEDESK」従業員向けマイページ

■ 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第25期 2016年6月30日現在	第26期 2017年6月30日現在
資産の部		
流動資産	1,828,891	2,127,138
固定資産	434,480	423,772
有形固定資産	225,468	221,763
無形固定資産	83,379	67,170
投資その他の資産	125,632	134,837
資産合計	2,263,371	2,550,911
負債の部		
流動負債	916,370	1,015,640
固定負債	44,418	77,024
負債合計	960,789	1,092,664
純資産の部		
株主資本	1,262,210	1,406,095
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,176,282	1,176,282
利益剰余金	△ 553,410	△ 409,525
自己株式	△ 53,911	△ 53,911
その他の包括利益累計額	541	8,428
非支配株主持分	39,830	43,722
純資産合計	1,302,582	1,458,246
負債純資産合計	2,263,371	2,550,911

Point 1 資産の部

資産は、前期末に比べ287百万円増加しています。

流動資産の増加の主な理由は、現金及び預金の増加171百万円、売掛金の増加106百万円によるものです。

Point 2 負債の部

負債は、前期末に比べ131百万円増加しています。

流動負債の増加の主な理由は、短期借入金の減少83百万円があった一方で、買掛金の増加21百万円、未払費用の増加60百万円、未払金の増加27百万円があったことによるものです。

固定負債の増加の主な理由は、退職給付引当金の減少38百万円があった一方で、長期借入金（一年以内返済長期借入金を含む）の増加129百万円があったことによるものです。

Point 3 純資産の部

純資産は、前期末に比べ155百万円増加しています。

純資産の増加の主な理由は、親会社株主に帰属する当期純利益143百万円があったことによるものです。

■ 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	第25期 (自 2015年7月 1日 至 2016年6月30日)	第26期 (自 2016年7月 1日 至 2017年6月30日)
売上高	3,898,525	4,062,660
売上原価	2,770,467	2,864,313
売上総利益	1,128,058	1,198,346
販売費及び一般管理費	1,016,275	1,051,786
営業利益	111,782	146,559
営業外収益	15,027	16,859
営業外費用	5,267	4,452
経常利益	121,542	158,966
特別利益	20,453	—
特別損失	19,745	2,298
税金等調整前当期純利益	122,250	156,667
法人税等	6,889	8,548
当期純利益	115,360	148,119
非支配株主に帰属する当期純利益	1,768	4,233
親会社株主に帰属する当期純利益	113,592	143,885

Point 連結損益計算書

ITソリューション事業が堅調だったことに加え、ITサービス事業においてストレスチェックを中心としたEAP関連業務の売上が222百万円と前期の53百万円から伸ばしたことなどにより、売上高4,062百万円（前期比4.2%増）、営業利益146百万円（前期比31.1%増）、経常利益158百万円（前期比30.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益143百万円（前期比26.7%増）となりました。

■ 連結包括利益計算書

(単位：千円)

科 目	第25期 (自 2015年7月 1日 至 2016年6月30日)	第26期 (自 2016年7月 1日 至 2017年6月30日)
当期純利益	115,360	148,119
その他の包括利益	△ 10,648	7,887
包括利益	104,712	156,006
(内訳) 親会社株主に係る包括利益	102,943	151,772
非支配株主に係る包括利益	1,768	4,233

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	第25期 (自 2015年7月 1日 至 2016年6月30日)	第26期 (自 2016年7月 1日 至 2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,817	171,665
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 53,636	△ 41,234
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 153,344	45,758
現金及び現金同等物の増減額	※△ 273,664	176,189
現金及び現金同等物の期首残高	1,476,275	1,202,611
現金及び現金同等物の期末残高	1,202,611	1,378,800

※株式会社エクスカルが、前期第2四半期末に連結除外となったことに伴う減少額△63,866千円を含んでおります。

Point 連結キャッシュ・フロー計算書

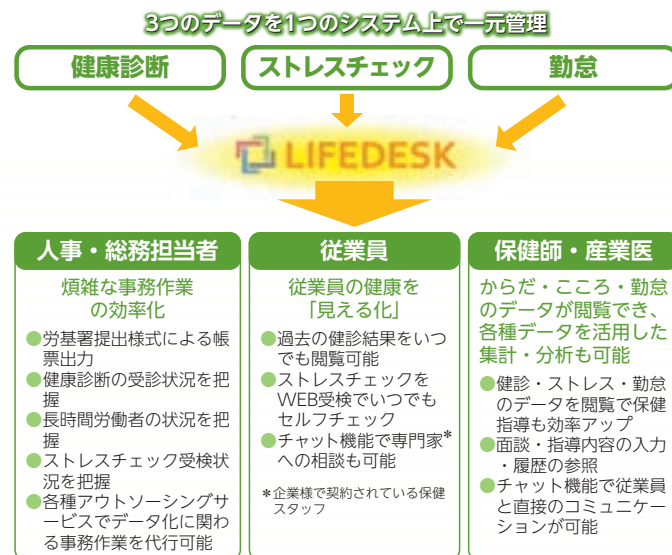
(営業活動によるキャッシュ・フロー)
売上債権の増加△106百万円、退職給付に係る負債の減少△38百万円のうち、税金等調整前当期純利益156百万円、資金の異動を伴わない減価償却費55百万円、のれん償却費12百万円、未払費用の増加等のその他92百万円があったことによるものです。
(投資活動によるキャッシュ・フロー)
有形固定資産の取得による支出△34百万円によるものです。
(財務活動によるキャッシュ・フロー)
短期借入金の純減額△83百万円のうち、長期借入金の純増額129百万円があったことによるものです。

株式会社ジズスタッフ クラウド健康管理システム

中期経営計画I (2016/07-2019/06) の戦略である「専門特化」にむけて新規事業の創出を目指し、健康診断・ストレスチェック・勤怠のデータを一元管理するクラウド型の健康管理システム「LIFEDESK」の開発を進め、提供を開始しました。

今後は、「LIFEDESK」のサービス拡充と販売促進に努め、さらなる専門特化を進めてまいります。

- 株式会社ジズスタッフ
- 所在地：〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-26-8
ユニゾ神田小川町三丁目ビル3F
- URL：http://www.gstf.jp/
- TEL：03-5217-3131 FAX：03-5217-3134



アクモス株式会社 情報セキュリティEXPO

2017年5月10日～12日に東京ビッグサイトにて行われた2017 Japan IT Week内「第14回 情報セキュリティEXPO」に出展しました。

情報セキュリティEXPOは、情報セキュリティ対策のあらゆる製品が一堂に出展される専門展です。当社ブースでは、情報漏えいを無害化する「超高速秘密分散ソリューション」を中心に初出展となる製品の展示やデモンストレーションを行い、今後のマーケティングや営業活動に役立てられる良い機会となりました。

<主な出展製品>

- 超高速秘密分散ソリューション [SYMPROBUS Divide API]
- 標的型攻撃メール対応訓練 [SYMPROBUS Targeted Mail Training]
- 統合仮想化ソリューション [Accops HySecure/HyWorks]



人を育てる アクモス会長賞

当社では毎年、アクモスの創立記念日である8月23日に『アクモス会長賞』を開催しています。(昨年までの名称は『アクモス社長賞』)

アクモス会長賞では、その年の事業活動に貢献した個人やチームをアクモスグループ全社から選出して表彰しています。第12回目となる今年は、例年通りの「業績貢献」「業務改善の実施」「感動サービスの提供」の3賞に加え、第26期から部門別採算制度ウィングシステムをグループ全社で導入したことに伴い「Best Wing賞」の2部門を新設し、15組37名に表彰を行いました。

<アクモス会長賞 各部門>

- ・ACMOS賞 (業績貢献)
- ・EIC賞 (業務改善の実施)
- ・PSP賞 (感動サービスの提供)
- ・Best Wing賞 リーダー部門
- ・Best Wing賞 業績部門

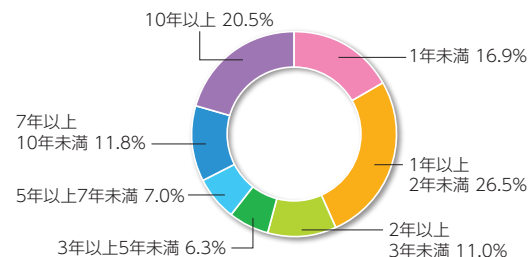
社会に必要とされる企業であり続けるため、アクモスグループはお互いに切磋琢磨しあい、今後もグループ一丸となって事業に取り組んでまいります。



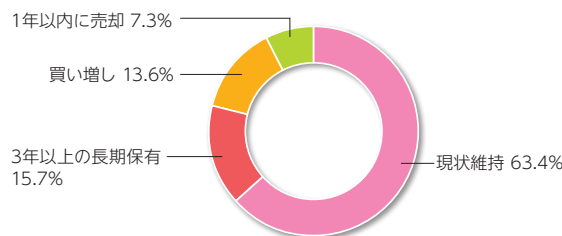
2016年秋発行のアクモスハイウェイに同封の「株主さまアンケート」につきまして、多くのみなさまから貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

アンケート実施概要
 実施期間：2016年9月27日～2016年10月31日
 ご回答いただいた株主さま 284名 (全体の5.2%)

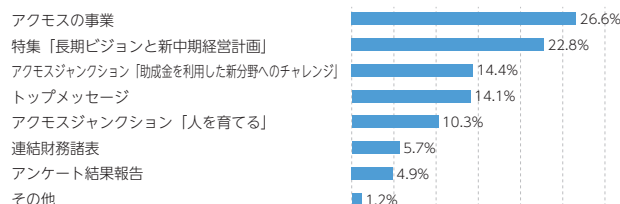
Q1 ▶▶▶ 当社の株式の保有期間



Q2 ▶▶▶ 今後の当社株式の保有についての方針をお聞かせください



Q3 ▶▶▶ 前回の「アクモスハイウェイ」で興味をもたれた記事をお選びください (複数回答可)



株主さまからのご意見

- ・人材の育成と共に会社が発展することを期待します。(60代男性)
- ・今後100年後も生き残っている企業を目指して下さい。(40代男性)
- ・株価上昇する様“チャレンジ”期待してます。(70代女性)

アンケートご協力をお願い

当社では、株主のみなさまとのコミュニケーション充実を図るため、毎年、株主さまアンケートを実施しています。いただいたご意見・ご要望は、経営やIR活動の参考とさせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、個人情報保護等の観点から前回より個人情報の記載のないハガキとなっております。それに伴い、例年実施していた謝礼品の送付を廃止させていただいております。

アンケート締切日：2017年10月31日 (消印有効)

社会貢献活動報告

当社が募金等を通して南スーダンでの活動を支援させていただいている特定非営利法人ピースウィンズ・ジャパンからレポートをいただきました。

ピースウィンズ・ジャパン (PWJ) 南スーダン支援レポート

いつもご支援を賜り、誠にありがとうございます。PWJは、首都ジュバから200km離れたジョングレイ州において破壊された井戸の修繕をしたり、住民自身でメンテナンスを行っていくための管理・修理研修を行っています。今後も必要とされる支援を必要な人びとに届けていきます。



村の技師に井戸の修理を指導



修理された井戸を使う村の女性たち

■ 会社の概況 (2017年 (平成29年) 6月30日現在)

商号 アクモス株式会社
 設立 1991年8月23日
 資本金 6億9,325万円
 社員数 連結370名 (単体232名)
 主な事業
 ・ITソリューション
 IT基盤設計・構築
 SI・ソフトウェア開発
 システム運用・保守
 業務系アプリケーション開発
 地図情報提供サービス
 ・ITサービス
 情報処理サービス
 ビジネスプロセスアウトソーシング

■ 役員状況 (2017年 (平成29年) 9月26日現在)

代表取締役会長 兼 CEO 飯島 秀 幸
 代表取締役社長 兼 COO 清川 明 宏
 取締役専務執行役員 石川 稔
 取締役常務執行役員 深作 耕 一
 社外取締役 (常勤監査等委員) 西山 達 男
 社外取締役 (監査等委員) 柴田 洋 一
 取締役 (監査等委員) 金子 登志雄

※第26回定時株主総会終了後の状況を記載しております。

■ 主な事業所

本社 〒101-0052
 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
 ユニゾ神田小川町三丁目ビル
 TEL：03-5217-3121

茨城本部 〒319-1112
 茨城県那珂郡東海村村松2713番地7
 TEL：029-270-5555

つくばオフィス 〒300-0847
 茨城県土浦市卸町一丁目1番1号
 関鉄つくばビル2F
 TEL：029-834-3391

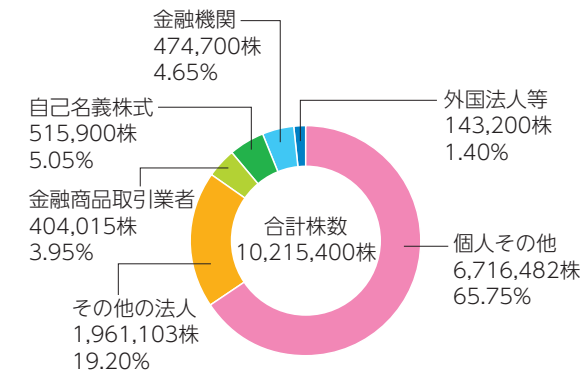
■ 株式の状況 (2017年 (平成29年) 6月30日現在)

発行可能株式総数 32,300,000 株
 発行済株式総数 10,215,400 株
 議決権を有する株主数 4,316 名
 上位10名の株主の状況

株主名	持株数 (株)
コンセーユ・ティ・アイ株式会社	1,905,000
飯島秀幸	1,076,400
アクモスグループ社員持株会	289,000
資産管理サービス信託銀行株式会社	252,000
日本証券金融株式会社	222,700
株式会社SBI証券	144,400
野間一	143,600
金子登志雄	96,000
楽天証券株式会社	83,800
桧山秀夫	82,700

※自己株式を除く発行済株式総数の上位10名の株主を記載しております。

所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月下旬
公告方法	電子公告 http://www.acmos.co.jp/ir/brief_note.html (電子公告により行なうことが事故その他やむをえない事情によりできない場合には、日本経済新聞に掲載して行ないます。)
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先※	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話：0120-232-711(通話料無料) 郵送先： 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

※株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記の通り変更しております。

- 株券の電子化に伴い、株主様の住所変更、その他の各種手続きについては、原則として、証券取引口座を開設されている証券会社等で承ることになっております。
- 特別口座に記録された株式の各種手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した用紙、インクを採用しています。



証券コード：6888



アクモス 株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 ユニゾ神田小川町三丁目ビル
TEL : 03-5217-3121 FAX : 03-5217-3122 <http://www.acmos.co.jp/>



本社
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
ユニゾ神田小川町三丁目ビル
TEL : 03-5217-3121
FAX : 03-5217-3122



茨城本部
〒319-1112
茨城県那珂郡東海村村松2713番地7
TEL : 029-270-5555
FAX : 029-270-5531

JR東海駅より車で10分

ホームページをリニューアルしました

利便性向上を目指し、2017年3月に当社ホームページのデザインを一新しました。今後も引き続きコンテンツの充実に向けてまいりますので、ぜひご利用ください。

ホームページアドレス：
<http://www.acmos.co.jp/>

